

# 20代女性の人生選択：会話シナリオ編

## 高橋桂子研究室

### 1. はじめに

世界経済フォーラム (World Economic Forum : WEF) が公表する Gender Gap Index (GGI) の順位で日本は依然として低く、2022年のランキングは、世界146カ国中116位 (スコア 0.65) である。上位にアイスランド、フィンランド、ノルウェーなど北欧諸国 (スコア 0.85~0.91) が並ぶ。

このGGIという指標は、①経済 (労働参加率・同一労働における賃金・収入格差・管理職の男女比・専門技術の男女比)、②政治 (議会や閣僚など意思決定機関への参画・過去50年間の国家元首の在任年数における男女差)、③教育 (識字率・初等教育就学率・中等教育就学率・高等教育就学率の男女比) と④保健 (出生時性比・平均寿命の男女差) の4領域から測定され、女性/男性で計算される。男女の格差がなればスコアは1に、逆に男女の格差が大きければ0に近づく。

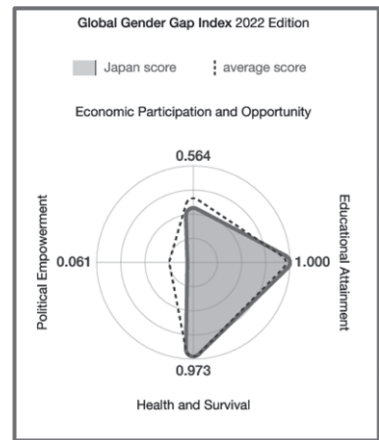


図1 領域別にみた日本のGGI  
(出典) World Economic Forum, Global Gender Gap Report 2022

よく知られているように、③教育 (スコア 1.000) と④保健 (同 0.973) はほぼ満点に近いが、①経済 (0.564)、そして②政治 (0.061) で116カ国平均 (図1: 点線) より低い。いかにして①経済、②政治におけるスコアを改善するか。この状況を認識し、男女共同参画社会を形成するための効果的な方略を検討し、改善にむけて動く必要がある。

その1つが学校教育におけるロールプレイングを通した学びである。女性だから、子どもだから、女の子だから、こうするべきといった行動をとったり、女性だからということだけで知らず知らずのうちに我慢していることはないだろうか。親や友達、配偶者に不満に思っている、不満を伝えたり交渉することなく一歩引いてしまう、という体験・実感はないだろうか。

リアルな会話シナリオを通して、自分ならどうする、という議論を授業で行うための素材を提供する。

## 2. シナリオの設定、登場人物

### (1) 設定

シナリオ1：彼氏が「結婚したら仕事を辞めて、専業主婦になってほしい」という。

シナリオ2：「共働きの家事・育児分担」

シナリオ3：「子どもの教育：私立校それとも公立校、選択は誰がする？」

### (2) 登場人物

女子大学時代の友人3人(A子、B子、C子) 同級生 29歳

## 3. シナリオと議論のポイント

### (1) シナリオ1：彼氏が「結婚したら仕事を辞めて、専業主婦になってほしい」という。

#### ① 設定

A子：総合職、結婚が決まったばかり／B子：総合職、既婚、キャリアウーマン志向／C子：専業主婦

#### ② 議論のポイント

私からプロポーズ／様々な出会い／我慢していることはない？／

C子は、普段、家で何をしてる？／後付けで働かない理由をつけていない？

#### ③ シナリオ

A子「久しぶり！」

B子「わー！会えてうれしい！」

C子「久しぶりだね。元気にしてた？」

B子「元気だったよ。みんな、最近はどうしてるの？」

A子「実はね、今付き合っている彼氏に私からプロポーズをしたの。結婚することになったよ。」

C子「え〜！女性からプロポーズしたの？すごいね！ともあれ、おめでとう！」

A子「ありがとう。すごくハッピーよ。でも1つ、心配なことがあるの。実は最近、彼氏が「結婚したら仕事を辞めて家庭に入ってほしい」って言うのよ。私は働いた方が良くもしていて…迷ってるの。みんなはどうしてる？」

B子「私は、総合職で共働きだよ。」

C子「私は、旦那が稼いでくれてるから、専業主婦してるよ。」

A子「そうなんだね。私も今は総合職なの。」

B子「続けて働いていた方が良くと思うよ。」

A子「どうして？」

B子「いろいろな出会いがあるし、仕事を通じた成長も実感出来るでしょ。稼ぎ手も2人でリスク分散も出来るし、単純に収入も2倍あるし！」

C子「たしかに…」

B子「お金がないと我慢しなきゃいけないこともあるよね。」

A子「今、出来ていることが出来なくなるのは嫌だな。マイホームも欲しいし、子どもも欲しい。貯金もしくっちゃ。」

B子「うちは共働きだけど基本、夫の収入だけで生活しているの。それで私の給料は小遣い以外、すべて貯金しているよ。正社員で共働きしていると、こんな感じで家計管理しているケースも多いよ。自分の小遣いで脱毛もエステも行ってよ。」

C子「！！そう考えると、エステももう3年ぐらい行けていないかも…私、気づかない間に我慢してたんだ。」

A子「C子は普段、家で何をしているの？」

C子「掃除や洗濯、家事をしているよ。結構、何やかやで、あっという間に1日が過ぎるのよ。でも、余った時間は何もしていないかも。」

B子「その分、何かした方が自分のためだよ。ほら、大学時代、機会費用の金額、計算したじゃない。たしか、キャリアウーマンと専業主婦だと生涯の年収が2億円ほど違う結果になったよね。まあ、働かなくても、時間は、もっと自分のために使った方が良くよ。」

A子「2人の話を聞いて、彼氏ともっと話してみようと思う。ありがとう！」

C子「私も、自分のために時間を使うようにしてみる。考えてみるね。」

## (2) シナリオ2：「共働きの家事・育児分担」

### ① 設定

A子：妊娠8ヶ月目／B子：2児(1、3歳)の母／C子：1児(3歳)の母

### ② 議論のポイント

配偶者の育児休業の取得／家事・育児分担／共働き

### ③ シナリオ

A子「みんな久しぶり～！」

B子、C子「久しぶり～！何ヶ月目に入ったの??」

A子「今ちょうど妊娠8ヶ月なの！この前、産休を取るために会社に申請をしたところなんだ。」

B子、C子「そうなんだ！ 私たちも産休取ったよね。」

A子「2人は共働きで子どももいるよね。ねえねえ、旦那さんとは家事・育児の分担はどんな感じをしているの??」

C子「私の配偶者の職場は育児休暇が取りづらいらしいんだよね。職場の周りの人も家事・育児は女性の仕事っていうイメージを持っている人が多いみたい。だから家事・育児の分担はあまり決めてなくて、ほぼ私がやってるかな。」

A子「そうなんだ…。私の周りの友達も、配偶者との意識の違いから、家事・育児の負担がどうしても女性になってしまう人が結構いるかも。B子のところはどんな感じ??」

B子「うちは、家事・育児を2人で分担するのは当たり前、って言ってるよ。だから私が1人目を産んだときも夫は育児休暇を取ったよ。今は子どもが2人いるけど、保育園の送り迎えや家事は、その日によってしっかりと分担してやっているよ。C子は現状に不満はないの??」

C子「やっぱりパパにはもっと育児に参加してほしいし、子どもとの時間を持ってほしいかな。私も仕事があるし、今のままだと仕事を辞めないといけなくなりそう…。」

B子「旦那が家事・育児を「手伝う」感覚ってどうなんだろ…??」

C子「そうそう、「手伝う」感覚ではなく自発的にやってほしいよね。」

B子「私たちはお互いが家事や育児にしっかり関わっているでしょ、だから私が家にいないとき、相手に家庭を任せられる信頼感があるし、2人でフォローし合っているチームなんだ。2人子どもがいるけど、しっかりと役割分担しながら育児や家事が出来ているのよ。家事・育児はママだけの役割ではなく、夫婦2人の役割だと捉えることが大事だと思うよ。」

C子「たしかに…。共働きはマストな時代だからこそ、子どもとの時間や夫婦が仲良く過ごせる時間を作るために、家事・育児の分担について改めて考えないといけないのかも。」

A子「産後パパ育児もはじまつたし、これからは夫も妻も双方が育児や家事に参加していく時代になるんだろうね。」

B子「うんうん。それが出来るようになったのは一歩前進よ。もちろん、家事・育児の分担は、それぞれの家庭の事情によることも大きいだろうけど、パパとママ、2人にとってベストな分担を定期的に話をする場を設けることも大切だよ！」

C子「そうね。意識的に動かないと、どうしても夫は仕事、妻は家事、って偏りがちだから。私たちも生き活きと働きたいし、家族との時間も大切にしたいよね。」

A子「うんうん、この素直な気持ちを家族に伝えて話し合うことが何よりも大事だと思う！私もこの機会に旦那と今後の家事・育児分担について定期的に話してみようと思う！2人とも相談に乗ってくれてありがとう！」

B子「夫婦お互いに頼り合って仕事と家事の両立頑張っていこー！」

### (3) シナリオ3：「子どもの教育:私立校それとも公立校、選択は誰がする？」

#### ① 設定

A子：5歳児(男)の母／B子：6歳児(女)、小学校2年生(男)の母／C子：小学校2年生(男)の母

#### ② 議論のポイント

親が決めるのではなく、子どもに選択・決定させる

#### ③ シナリオ

A子「皆、久しぶり～！」

B子・C子「久しぶり～！」

A子「最近子育てどう？大変？」

C子「最近は夫も家事と育児してくれるようになったから、自分に余裕が持てるようになったんだ～！今日はどうしたの？」

A子「良かったね！今日は子どもの相談で来たの。来年、子どもが小学校に入学するんだけど、私立に入れるか公立に入れるか、夫と迷ってて…。夫は「長男なんだから将来のことも考えて私立が良いんじゃないか」って言うてるんだよね。2人は子どもの進路って、どうやって決めたの？」

B子「私もA子の配偶者と同じ考えで子どもを入学させたよ！やっぱり男の子は将来とした仕事についてほしいから、私立でしっかりとした手厚い教育を受けてほしいよね～！下の子は女の子で将来家庭に入るだろうし、公立に入れようと思ってるんだよね。」

A子「決めるときは子どもと相談して決めたの？」

B子「いいえ、私たち夫婦だけで決めたよ！子どもはまだわからないだろうから。」

A子「C子はどうやって決めたの？」

C子「私たちは、子どもが自分で考えて学校を決めることが大切だと思っていたから、まず子どもに行きたいところを聞いたよ。学校に通うのは子どもだから、子どもが行きたいところに通わせてあげたかったんだよね。そしたら、公立の学校がいいって言ったから、公立の学校に入学させたよ。」

A子「たしかに、子どもとしっかり話し合うことも大切だね。」

C子「うん。何よりも、子どもたち自身で考えて選択することが大事なんじゃないかしら。男の子だから、女の子だからって考えるのではなく、その子の気持ちを第一に考えてあげたいな。B子の気持ちもわからないでもないけど、男だから女だからという考え方は一昔前の話よ。現在はみんなが能力を活かして生きていく時代だから、女性だから家庭に入るという単純な方程式は成立しないし。時代はどんどん進化しているから、20年後の社会をきちんと生きていける子どもたちを育てていきたいね。」

A子「そうだね…。私たち親の勝手な偏見や見栄で子どもたちの大事な将来を潰しちゃいけないね。」

B子「私自身、まだ男女に対する偏見を持っていたのかもしれない…。C子、気づかせてくれてありがとう。これを機に、もう一回夫や子どもと話し合ってみようと思う。」

C子「うん。親の意見だけじゃなくて、子どもともしっかり話し合うことが大切だね。」

A子「私も子どもとしっかり話し合う場を作ろうと思う。女の子も男の子も関係なく、自分で自分の人生を選択して、たくましく生きてほしいな。2人とも今日はありがとう～！」

B子「私も2人と話をして、大切なことに気づいたよ。ありがとう。」

C子「差別や偏見のない世の中を作るためには、まずは差別や偏見を持たない家庭生活、だね。」

## 技術・家庭(家庭分野)学習指導案：シナリオ1

### 1. 題材(単元)名

A 人の一生と家族・家庭及び福祉

人生を展望する・生活をデザインする

### 2. 題材観

現在、日本のGender Gap Index (GGI) スコアは0.65であり世界146カ国中116位である。特に、経済と政治は平均値より低く、男女での差がみられる。男女共同参画社会を形成していくために、この現状を認識し改善する必要がある。また、高校卒業後は、自分で人生を切り拓いていくことになる。しかし、社会との接点が薄い高校時代に、自分と社会の関わりや自分自身の人生設計を臨場感を持って考えることは容易ではない。この点を、リアルな会話シナリオを使用したロールプレイングを通して考えさせて、男女共同参画社会の構築を意識した人生設計が行えるようにすることを目指す。

### 3. 生徒観

[指導校に準ずる]

### 4. 指導観

[指導校に準ずる]

### 5. 題材の目標

- ・ Gender Gap Index (GGI) と日本の現状を理解する。
- ・ 自分と社会の関わりを考えることが出来る。
- ・ 男女共同参画社会の構築を意識した、人生設計を行うとしている。

### 6. 指導計画(1～2時間)

1. 20代女性の人生選択
2. 自分の人生設計

### 7. 本時の学習

題材(小単元)名：20代女性の人生選択

#### (1) 本時の目標

学習目標：シナリオを通して、自分の人生を考える。

#### (2) 本時の評価規準・評価方法

知識・技能：Gender Gap Index (GGI) と日本の現状を理解する。

思考力・判断力・表現力等：自分と社会の関わりを考えることが出来る。

主体的に学習に取り組む態度：男女共同参画社会を意識した、人生設計を行うとしている。

### (3) 本時の展開 (1 / 1 ~ 2 時間)

段階	学習活動	指導上の留意点と評価
導入	○子どもの頃の将来の夢を振り返る。	○発問「子どもの頃の将来の夢は何でしたか」 ・幼い頃から人生設計を行っていたことに気づかせる。
展開	<p>○3人グループになり、シナリオを読んで演じる。(約10分)</p> <p>○シナリオのポイントを議論し、発表する。(約10分) [予想される答え] ・彼氏から「専業主婦になってほしい」と言われた。 ・女性からプロポーズしている。 ・マイホームのための貯金をしている。 ・生涯の稼ぎが正社員と専業主婦では大きく異なる。</p> <p>○Gender Gap Index (GGI) と日本の現状を理解する。(約10分)</p> <p>○自分の人生設計を行う。(約10分)</p>	<p>○シナリオの内容と設定の説明を行う。 ・場面、人物、状況を正確に伝える。 ・代表のグループに前で演じてもらう。</p> <p>○シナリオのポイントの解説を行う。 ・ポイントとなる場面を取り上げて、解説を行う。 ・男女共同参画に着目し、女性が選択しなければならない場面を取り上げる。</p> <p>○Gender Gap Index (GGI) と日本の現状 ・Gender Gap Index (GGI) の解説は丁寧に行う。 ・具体的なグラフや数値を用いて理解しやすい工夫する。 ◇Gender Gap Index (GGI) と日本の現状を理解する。(社会科と連携) ◇自分と社会の関わりを考えることが出来る。</p> <p>○自分が男女共同参画社会の中で、どのような人生を歩みたいかを考えさせる。 ・選択の場面でのどのような選択を行うかを考えさせる。 ◇男女共同参画社会を意識した、人生設計を行うとしている。</p>
まとめ	○本日の振り返りと理解度チェック ・考えたことと感想の記入を行う。	○生徒の躰きを理解し、次回の授業で解説を行うための情報収集を行う。 ・特に Gender Gap Index (GGI) について理解しているか確認を行う。 ・1つのプランとして提案し、これがすべてではないことを伝える。 ・自分ならこのテーマでどのようなシナリオが作成出来るか考えてみると良いことを伝える。

○：学習活動、指導の留意点

◇：評価方法

## 家庭総合 ワークシート①

2022年 月 日

年 組 番 名 前

### 人生を展望する・生活をデザインする【20代女性の人生選択】

#### 学習目標

ワーク：グループになってシナリオを演じてみよう！（シナリオは別紙参照）

#### ◎シナリオのポイントはどこだろうか

#### ◎Gender Gap Index (GGI) と日本の現状

・Gender Gap Index (GGI) とは…

☆男女格差の度合いを示す指数で、世界経済フォーラムが公表している。

☆経済、教育、保健、政治という4分野が設定されている。

☆「女性÷男性」で計算され、0が完全不平等、1が完全平等を表す。



・日本の現状

☆2022年発表のデータでは、146カ国中116位

☆教育と保健は世界でもトップクラス→しかし…政治と経済の値が極めて低い

(出典：男女共同参画局 男女共同参画に関する国際的な指数)

◎自分の人生を設計してみよう

[書き方の例をのせる]

選択の場面と選択肢の例		
場面	選択肢	
結婚	する	しない
子ども	あり	なし
仕事	共働き	専業主婦

◎理解度チェック：Gender Gap Index（GGI）とはどのようなものだったか書いてみよう

◎日本のGGIを改善するための秘策は何だろうか。思いつくまま、すべて、書き出してみよう

◎今日の授業で学んだこと・考えたこと・感想を書こう

たかはし・けいこ／下田歌子記念女性総合研究所 所長・生活科学部生活文化学科 教授  
(研究室メンバー：大石美月、高山未来、小林果鈴)